

自治連よなご

第68号

発行 米子市自治連合会

(事務局 米子市総合政策部地域振興課内)

令和7年(2025年)10月1日発行

編集 『自治連よなご』編集委員会

米子市自治連合会 令和7年度定例総会開催

5月17日(土) 米子市文化ホールで定例総会を開催しました。

表彰や、事業計画等の決定、新年度役員選出などが行われ、今年度のスタートとなりました。

○表彰状贈呈(自治会長20年在任) 2名

啓成地区 桜町二丁目西区自治会 安藤 享 氏

義方地区 灘町二丁目西区自治会 安達 哲郎 氏

○感謝状贈呈(自治会長10年在任) 6名

啓成地区 博労町1丁目自治会 小田 辰夫 氏

啓成地区 東福原1丁目自治会 秋田 健一 氏

就将地区 大谷町自治会 佐野 文真 氏

就将地区 中町自治会 平井 道彦 氏

就将地区 クリーンピア米子加茂町自治会 前田 恒夫 氏

義方地区 尾高町自治会 大谷 秀雄 氏



ごあいさつ

米子市自治連合会 会長 近藤 豊



この度、今年度の総会に於いて米子市自治連合会会長に就任いたしました福生東地区の近藤豊です。役員を代表しまして日頃より自治会活動にご尽力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

私は自治連合会常任委員を4年、副会長を2年務めてまいりました。その経験を通して、自治会が単なる「ゴミ出し」や「防犯・防災」といった活動の場だけではないことを改めて実感しております。もちろん、マスコミ等で報じられることも多いこれらの活動は、私たちの安全・安心な暮らしを支える上で欠かせないものです。しかし、自治会が果たしている役割は、それ以上に多岐にわたる、非常に重要なものです。

会長就任から4ヶ月が経ち、改めて気づかされたことがあります。それは、自治会が地域福祉の基盤を支えているという事実です。共同募金や日本赤十字社への活動支援、そして「明るい社会を作る運動」を通じた保護司会などへの支援金など、自治会からの支援は、地域の福利厚生に大

きく貢献しています。もし自治会からの支援がなければ、これらの活動は停滞し、地域に暮らす人々が享受している様々な恩恵が失われてしまう恐れがあります。

また、年2回実施される「米子市一斉清掃」も、自治会の皆様の参加なしには成り立ちません。もし自治会がこの清掃活動に参加しなければ、私たちの地域の環境はどのように変わってしまうのでしょうか。道路や公園はゴミで溢れ、草木は伸び放題となり、街の美しさは損なわれ、衛生環境は悪化するでしょう。そのような状況は、私たちの住む場所への愛着を薄れさせ、ひいては街全体の活力を奪うことにもつながりかねません。

自治会は、地域の環境美化や福祉活動を支え、私たちの暮らしを豊かにするために欠かせない存在です。

私たちは今、地域のつながりが希薄になりつつある時代に生きています。だからこそ、地域のコミュニティを維持・発展させていくことが、何よりも重要です。

米子市自治連合会といたしましては、今後も各自治会の皆様と連携を密にし、より多くの方に自治会の重要性を伝え、新たな加入者を迎えるための活動に力を注いでまいります。

地域住民の皆様が、安全・安心に暮らせる米子市を共に築いていくため、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

魅力いっぱい! 地域活動

公民館で防災キャンプ

三本松一区自治会 会長 眞壁 康夫



義方公民館では児童が放課後や週末、気軽に公民館に来てスポーツや文化活動を学べる「アメージングスクール」という広場があります。そこで災害につ

たりする教室ができないかということで、昨年より児童が災害から自分の身の安全を守るための必要な知識を学習したり、避難所での宿泊体験をする「きぼう こども防災キャンプ」を企画してみようということになりました。

米子市では災害時の避難所として公民館を指定しています。鳥取県西部地震において義方公民館では、9日間61人の被災者が避難生活をしました。当時、消防団員だった松山館長も避難所運営



に携われ、その時の様子をいろいろ聞くことができ、実際に避難所として使用される公民館で、宿泊経験する意義を感じました。

防災キャンプの内容は、まず防災の基礎知識を学び、炊き出し訓練で防災食を食べ、防災ゲームをやったり防災グッズも作りました。宿泊訓練では畳の上ではなく、災害時と同じくフロアの上に段ボールを敷き、自分で持ってきた寝袋やタオルケットで実施しました。なかなか寝られなかったみたいで、2時過ぎまで声がしてました。次の日朝食を取った後、訓練用の消火器を使用して初期消火訓練を実施し終了しました。

この教室の目的は、楽しみながら防災知識やスキルを習得することですが、一番知ってほしかったことは、「災害時は地域で協力したり、助け合うことが重要」ということです。その為には日頃からの近所付き合いや自治会活動が大切で、「防災への第一歩は挨拶すること」と伝えました。今年も9月に計画しておりますが、いつの日か参加してくれた子供たちが、地域を支える防災リーダーになってくれることを切に願います。



福生西ふれあい夏まつり

福生西自治連合会 会長 福景 順一

令和7年7月27日、皆生海浜公園にて地区の「福生西ふれあい夏まつり」が盛大に開催されました。気温37度を超える厳しい猛暑の中、午後2時から、スタッフ一同が熱中症に注意を払いながら会場の設営に取りかかり、短時間で準備を整えました。

祭りは、元気いっぱいの子もたちによる神輿「ワッショイ!」の掛け声でスタート。会場は一気に活気に包まれました。その後の盆踊りでは、事前に行われた練習の成果が見事に現れ、息の合った踊りを披露していました。



会場内にはバザーやゲームコーナーが設けられ、子どもから大人まで楽しめる多彩なイベントが展開。焼き鳥や焼きそばなどの屋台



も多くの来場者に人気で、香ばしい香りが祭りの雰囲気を一層盛り上げました。

また、子どもたちのかわいい

ダンスパフォーマンスや、二人一組で行う「二人羽織」ゲームも大いに盛り上がり、笑い声が会場に響き渡りました。

祭りの締めくくりとなった抽選会には、約600名もの参加者が集まり大盛況。豪華賞品が次々と当選者に手渡され、歓声が上がりました。参加者全員が笑顔で交流し、令和7年の地区夏まつりは大成功のうちに幕を閉じました。

猛暑の中での開催となりましたが、地域の皆さんの協力と活気により、楽しい祭りとなりました。来年もまた、笑顔あふれる夏祭りを開催したいと思います。



総合室内装飾、タタミ、フスマ、設計施工
内装仕上工事業、般7第890号



株式会社
インテリア セオ
鳥取県米子市米原1丁目7番1号
TEL0859-33-1064 FAX33-3245

美保動物霊園

ペット火葬

樹木葬

納骨堂

受付 ☎ 0120-124-619

美保動物霊園 [斎場・ホール] 米子市河崎1299

楽しむ町民運動会

大篠津地区自治連合会 会長 岡田 隆

降水確率60%曇り一時雨、5月18日開催予定の町民運動会の週間天気予報です。コロナ禍明けの一昨年から「町民全員参加で楽しむ」を目標に多様な催しを入れ込んだ「大篠津町民運動会」中止か開催か？

微妙な予報に大会役員は毎日の天気予報確認が日課と成りました。前日の準備でも曇天、悩みは大きくなるばかり。当日の早朝、開催の決定を町内放送でお知らせした後は午前9時の開会式まで大急ぎの準備です。昨年の反省から参加資格の制限を廃止したり小さな自治会でも参加できるように選手人数や競技内容を変更したり、子供たちには「お菓子のカバン」が1位賞品のこども〇×クイズ。ふるさとの味を覚えてと弓ヶ浜の郷土料理「いただき(ののこ飯)」の販売やシニア世代には懐かしい駄菓子や人気のパン屋さんの出張販売など運動会以外でも楽しめる工夫を凝らしました。

エンディングはもうお馴染みの賞品総額15万円の全員参加の町民〇×クイズ。今年の賞品は話題のお米、1等ブランド米30⁺、2等20⁺、3等10⁺その他電動かき氷機、電波時計、リビング扇風機、・・・ブービー賞19位は米5⁺、20位まで商品を準備、参加賞はパックジュース。一問一問の回

答に歓喜と落胆のため息に包まれながら運動会閉会式。幸運にも雨に降られる事も無く「晴れ男」を強く自覚した一日でした。



大高地区自治連合会「防災部」の5年間

大高地区自治連合会防災部企画運営委員 山船 茂樹

・「防災部」発足の経緯と目標

全国各地で災害が発生し避難所が開設され、被災者の避難所での過酷な生活が報道されています。地域内に大型河川が流れる大高地区でも豪雨のたびに避難指示が出ており、自治連合会としての地区防災体制の構築は歴代公民館長や自治連合会長の念願でした。

そして令和3年4月、大高地区自治連合会に「防災部」が発足しました。防災部は、激甚災害が発生してから避難所運営に対して公的支援が得られるまでの3日間、大高地区自治連合会が自力で避難所を運営できる体制と機能を持つことをその目標としました。

・防災部の組織

自治連合会長、同副会長をそれぞれ「防災部本部長および副本部長」とし、避難所運営にあたる実働組織である「総務部」「防災・救助部」「施設管理部」等7つの運営部の部長・副部長



に大高地区の各自治会長に就任いただきました。そのほかに、防災部正副本部長、大高公民館長などから成る「企画運営委員会」を併設しました。



・防災部の活動

防災部は企画運営委員を含む全部員が参加する「防災会議」を各年度3～4回開催しています。そして防災会議を通じて「防災部の活動方針の策定」をはじめ、「避難所運営マニュアルの作成(初版が令和6年2月に完成)」「避難所運営ゲーム(HUG)の実施」「公的助成金を活用した避難所用資機材(大型テント、移動式かまど、発電機等)の調達」「調達した資器材の操作実習」「防災食の調理実習」「想定される避難所(伯仙小学校)の実測調査とレイアウトの策定」「非常用トイレ等の追加調達」などを行い、避難所運営の知見と実働能力の蓄積に注力してきました。

これらの活動は多忙な各自治会長の積極的・献身的なご参加と、米子市地域振興課様や米子市伯仙財産区様の絶大なご支援があり実現したものです。

今後も米子市関係部局のご支援を得ながら、継続して避難所運営能力の向上と資機材の充実に努めて参ります。

医療・保健・福祉 ホスピタウンネットワーク



医療法人
社会福祉法人

真誠会

米子ホスピタウン(河崎) 弓浜ホスピタウン(大崎)

米子中央ホスピタウン 外浜ホスピタウン 高齢者生活支援隊
(西福原、富士見町、皆生) (和田町、富益町、夜見町)

米子市河崎580 TEL 0859-24-5666 <http://www.hospitown.or.jp/>

(有) 醐醍交通

貸切バス／北条レンタカー

〒683-0033 米子市長砂町479-1

TEL (0859) 32-0550

mail:hojo0550@gitar.ocn.ne.jp

魅力いっぱい! 地域活動

島根原発見学に参加して

大和地区自治連合会 会長 山田 博美

令和7年8月2日土曜日の朝8時40分バスにて大和公民館を出発。

この日の参加者は子供を含む38名。山陰道経由で島根原子力発電所に向かいました。

到着後すぐ職員の方に案内され、厳しい身元確認の後に原子力発電のしくみや燃料サイクル、放射線、最後に安全対策



について説明を聞きながらバスにて場内を一周しました。

福島事故後、地震や津波に備えた安全対策として、高さ15Mの防止柵が設置されるなど、二重三重の防止策がとられていることに非常に安心しました。

私だけでなく今回参加した方の大半の方が初めての見学となりましたが、実際の施設を見学することができ、とても貴重な体験となりました。

この見学を通じて、エネルギーの安全と安心について改めて考える良い機会となりました。ある程度、安全対策に対して理解し納得できたのではないのでしょうか。

昼食後、帰路に就きました。

がいな祭 募金へのご協力ありがとうございました。

米子がいな祭の開催にあたりましては、毎年格別なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、「第52回米子がいな祭」は、本年も自治会を通じて変わらぬご支援を賜り、2,391,535円(9/1時点)もの募金をいただきました。厚くお礼申し上げます。



大和 宇田 淀川 県江 大高 春日 巖日 五千石 永江 尚徳 成実 夜見 富益 和津 大津 崎津 彦名 福米西 福米東 福生西 福生東 河崎 加茂 車尾 住吉 義方 就將 明道 啓成

◎会長 ○副会長

山田 地頭 湯浅 奥田 仲原 内藤 俵 戸田 福島 深田 脇坂 松本 足立 田邊 岡田 松本 西尾 端下 上田 福景 近藤 足芝 永東 高野 西原 黒田 平井 河原 角田
博美 光晴 隆司 登弘 英二 俊一 隆雄 雄三 剛史 喜啓 眞一 信二 忠雄 隆美 陸夫 良則 康則 順一 豊秋 通清 和男 恭一 昌稔 道彦 英明 和久

令和七年度
米子市自治連合会
常任委員(各地区自治連合会長)
のみなさん

編集後記

近年は、気候変動により、短い春、長い猛暑、酷暑の夏といった具合に、日本の良き四季、春夏秋冬を感じにくく、かわりに線状降水帯による局地的な豪雨で、水害が多発したり、そうかと思えば記録的な水不足による山林火災、農作物の生育不良等、先行き不安な今日の頃です。自治会員の皆様方には、熱中症、コロナ、食中毒等、お身体には十分ご留意頂き、お過ごし下さいます様、お願いいたします。

さて、広報誌「自治連よなご」の編集委員は、去る4月18日をもってまして新体制となりました。何分不慣れな者達で、何かとご不便ご無理を申し上げますが、先の編集委員の方々のご苦勞を感じつつ、精一杯務めますのでよろしくお願いいたします。

自治会活動のどのようなことを紹介すれば良いか編集委員会で熟慮した結果、コロナ禍以前の生活に戻りつつある中、各自治会の催し物も逐次復活されていると聞きまして、各自治会加入により生まれる連帯感、協調性のある催し物を紹介していければ幸いだと思いい、編集していきたいと思ひます。

終わりになりますが、「自治連よなご」68号の発刊にあたり、急なお願いを申しましたにも関わらず、記事を寄稿して頂いた5地区の皆様にご感謝、御礼を申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。